

施策番号	1342		
施策名	歩くまちの歩行空間の形成と自転車利用の促進		
概要	高齢者や車椅子利用者をはじめとして、誰もが安全で快適に利用できる歩行空間を整備する。 また、自転車利用環境を整備し、自転車の利用を促進する。		
担当局	建設局	共管局	なし
上位政策	134 歩いて楽しいまちをつくる		

施策の評価

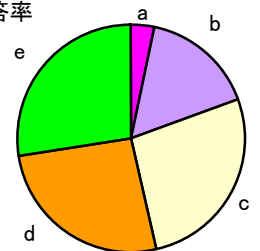
1 客観指標評価

	17年度	18年度	19年度評価				
			前回事	最新値	目標値	達成度	評価
1 自転車等駐車場の設置箇所数（箇所）	b	a	77	79	78	101.3%	a
2 歩道の整備延長(m)	e	e	870	1370	2984	45.9%	d
3 電柱をなくし管路を道路に埋設した延長(km)	e	c	2.87	1.75	4.74	36.9%	d
4 道路のバリアフリー化計画の実施済地区数（地区）	a	a	6	8	2地区増	100.0%	a
5 都市型レンタサイクルの設置台数（台）	d	c	579	570	636	89.6%	c
6 自転車等駐車場の収容台数（台）	b	a	40361	40749	43361	94.0%	b
7 -	-	-	-	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-	-	-	-
9 -	-	-	-	-	-	-	-
10 -	-	-	-	-	-	-	-
		d	b	客観指標総合評価			b

2 市民生活実感評価

設問	歩道の電柱や段差がなくなるなど快適になった。					
回答	17		18		19	
	回答者数	回答率	回答者数	回答率	回答者数	回答率
a:そう思う	26	4.9%	22	4.1%	15	3.2%
b:どちらかというと思う	75	14.1%	67	12.4%	78	16.4%
c:どちらとも言えない	115	21.6%	132	24.4%	128	26.9%
d:どちらかというと思わない	142	26.7%	165	30.4%	124	26.1%
e:そう思わない	174	32.7%	156	28.8%	131	27.5%
有効回答数	532		542		476	
市民生活実感評価	d		d		d	

19回答率



- a:そう思う
- b:どちらかというと思う
- c:どちらとも言えない
- d:どちらかというと思わない
- e:そう思わない

* この評価は、毎年5月頃に実施している京都市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

3 総合評価（客観指標総合評価＋市民生活実感評価）

	17	18	19
客観指標総合評価	d	b	b
市民生活実感評価	d	d	d
総合評価	D	C	C
重み付け		(理由)	
☐ 客観指標	☒ 市民の実感	この施策は、市民生活の充実感及び満足感を高めることが目的であるので、市民生活実感評価を重視する。	

4 原因分析・今後の方向性

総合評価は昨年度に引き続きC評価となった。客観指標総合評価については、昨年度に引き続きb評価となっているが、これは「道路のバリアフリー化計画の実施済地区数」及び「自転車等駐車場の設置箇所数」の2指標がそれぞれa評価という高い評価となっていることが大きな理由となっている。

一方、市民の生活実感については昨年度と同様d評価となっている。総合評価を向上させるためには、これらの取組を市民に対して広報していく必要がある。

今後とも、安全な歩行空間及び自転車利用環境の整備を推進していく。

（参考）この施策実現のための主な事務事業

	事業名	18年度予算 (千円)*	19年度予算 (千円)*	18年度事務事業評価に おける今後の方向性	担当部・課
1	御池地下街・地下駐車場建設事業等	3,637,617	3,639,568	現状のまま継続等	都市計画局都市 企画部都市総務 課
2	放置自転車等対策	404,894	512,935	充実	建設局道路部放 置車両対策課
3	放置自転車対策（緊急雇用）	27,194	27,194	現状のまま継続等	建設局道路部放 置車両対策課
4	自転車等放置防止条例関連	4,359	4,655	現状のまま継続等	建設局道路部放 置車両対策課
5	道路附属物自転車等駐車場	179,986	175,605	充実	建設局道路部放 置車両対策課
6	京都市自転車等駐車場条例に基づく自転車 等駐車場	247,130	215,694	充実	建設局道路部放 置車両対策課
7					
8					
9					
10					
合計		4,501,180	4,575,651		
うち、主たる事業の合計 (従たる事業の合計)		4,501,180 (0)	4,575,651 (0)		

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含む

施策名	1342	歩くまちの歩行空間の形成と自転車利用の促進				
-----	------	-----------------------	--	--	--	--

指標名	自転車等駐車場の設置箇所数（箇所）					
-----	-------------------	--	--	--	--	--

担当課	放置車両対策課	連絡先	2 2 2 - 3 5 6 5		
-----	---------	-----	-----------------	--	--

1 指標の説明

市内における主要自転車等駐車場の設置箇所数（累計）

2 指標の意味

市民が利用できる自転車等駐車場が市内にどれくらいあるかを示す指標

3 算出方法・出典等

市営自転車等駐車場及び市内鉄道駅周辺に設置されている自転車等駐車場の総数

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	18年度	19年度		数値	根拠	達成度
数値	77	79	2箇所増	78	京都市自転車総合計画	101.3%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	－	78	22年度	101.2%	「京都市自転車総合計画」に掲示	

5 評価基準

単年度目標に対する達成度が
a：100%以上
b：80%以上100%未満
c：60%以上80%未満
d：40%以上60%未満
e：40%未満

6 基準説明

100%以上の達成をaとし、等間隔に基準を設定した。

7 評価結果

17	18	19
b	a	a

指標名	歩道の整備延長 (m)					
-----	-------------	--	--	--	--	--

担当課	道路環境整備課	連絡先	2 2 2 - 3 5 7 0		
-----	---------	-----	-----------------	--	--

1 指標の説明

歩道補修及び交通安全施設整備事業の歩道整備の延長

2 指標の意味

だれもが安全で安心して活動し社会参加できるよう、安全で快適に歩けるバリアフリーな歩行空間の整備が進んでいるかを示す指標

3 算出方法・出典等

歩道補修及び交通安全施設整備事業の歩道整備の延長

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度
数値	870	1370	500m減	2984	過去5年間の最高値	45.9%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	－	－	－	－	－	地元、警察協議に時間を要したことによる繰越路線増

5 評価基準

最新の数値が
a：過去5年間の最高値以上
b：過去5年間の最高値と上中間（最高値と平均値の間）の間
c：過去5年間の上中間と平均値の間
d：過去5年間の平均値と下中間（平均値と最低値）の間
e：過去5年間の下中間以下

6 基準説明

事業費は毎年変動するものであり、一定安定的な数字と比較する必要があるため、過去5年間の数値を基に、過去5年間の最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。
最高値 2984（平成15年度）
平均値 1734
最低値 870（平成17年度）

7 評価結果

17	18	19
e	e	d

施策名	1342	歩くまちの歩行空間の形成と自転車利用の促進				
-----	------	-----------------------	--	--	--	--

指標名	電柱をなくし管路を道路に埋設した延長(km)					
-----	------------------------	--	--	--	--	--

担当課	道路環境整備課	連絡先	2 2 2 - 3 5 7 0		
-----	---------	-----	-----------------	--	--

1 指標の説明

当該年度の電線類地中化事業等により、電気事業者・電気通信事業者・道路管理者などの電線(光ファイバー含む)とそれらが支持する電柱が存在しなくなった区間の延長。電柱の抜柱がまだの場合も含む。また地中化事業によらない場合(裏配線・軒下配線等)も含む。なお、両側電柱区間では両側の延長の合計とする。

2 指標の意味

電線類の地中化などにより、安全で快適な通行空間の確保や都市景観の向上が図られたかを示す指標

3 算出方法・出典等

当該年度の電線類地中化事業等により、電線や電柱がなくなった道路における管路の延長

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度
数値	2.87	1.75	1.12km減	4.74	第5期無電柱化推進計画(平成16～20年度)の整備延長について、国補助に応じた事業量を単年度目標とした	36.9%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値		34.29	20年度	15.4%	平成17年度末で46.38km延長済(第1期計画分～)

5 評価基準

単年度目標に対する達成度が
a：100%以上
b：80%以上100%未満
c：50%以上80%未満
d：30%以上50%未満
e：30%未満

6 基準説明

目標値は事業予算の関係上、上回ることとは困難なため、100%の達成を最高のaとし、過去の目標達成率で最低値であった30%未満をeとして基準を設定した。

7 評価結果

17	18	19
e	c	d

1 指標の説明

今後の面的にバリアフリー化すべき地区を選定した「京都市バリアフリー全体構想」に基づく14の重点整備地区での道路特定事業計画が策定された地区数

2 指標の意味

幅の広い歩道の整備や、段差や傾斜・勾配を解消し、すべての人々が安全で快適に歩けるバリアフリーな歩行空間の整備に向けた進捗状況を示す指標

3 算出方法・出典等

計画地区数÷「京都市バリアフリー全体構想」で策定された14の重点整備地区

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度
数値	6	8	2地区増	2地区増	14か所の地区について20年度までに2地区ずつ策定	100.0%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値	-	14	20年度	57.1%	平成18年度末で合計8地区実施済

5 評価基準

単年度目標に対する達成度が
a：100%以上
b：80%以上100%未満
c：60%以上80%未満
d：40%以上60%未満
e：40%未満

6 基準説明

目標達成には相当の努力を要するものの、不可能ではないため、100%以上の達成をaとし基準を設定した。

7 評価結果

17	18	19
a	a	a

施策名	1342	歩くまちの歩行空間の形成と自転車利用の促進				
-----	------	-----------------------	--	--	--	--

指標名	都市型レンタサイクルの設置台数（台）					
-----	--------------------	--	--	--	--	--

担当課	放置車両対策課	連絡先	2 2 2 - 3 5 6 5		
-----	---------	-----	-----------------	--	--

1 指標の説明

市内における都市型レンタサイクルの設置台数（累計）

2 指標の意味

市民のレンタサイクルの利用可能台数がどのくらいを示す指標

3 算出方法・出典等

都市型レンタサイクルの総台数

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	18年度	19年度		数値	根拠	達成度
数値	579	570	約2%減	636	前年度×10%増	89.6%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-	-	-	-	-	-

5 評価基準

単年度目標に対する達成度が
a：100%以上
b：95%以上100%未満
c：85%以上95%未満
d：80%以上85%未満
e：80%未満

6 基準説明

100%以上の達成をa評価とし、各基準を設定した。

7 評価結果

17	18	19
d	c	c

指標名	自転車等駐車場の収容台数（台）					
-----	-----------------	--	--	--	--	--

担当課	放置車両対策課	連絡先	2 2 2 - 3 5 6 5		
-----	---------	-----	-----------------	--	--

1 指標の説明

市内における主要自転車等駐車場の収容台数（累計）

2 指標の意味

市内の自転車等駐車場にどのくらい自転車等が駐車できるかを示す指標

3 算出方法・出典等

各自転車等駐車場の収容台数の総数

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	18年度	19年度		数値	根拠	達成度
数値	40361	40749	388台増	40961	京都市自転車総合計画	99.5%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-	43361	22年度	94.0%	「京都市自転車総合計画」に掲示	

5 評価基準

中長期目標に対する達成度が
a：100%以上
b：80%以上100%未満
c：60%以上80%未満
d：40%以上60%未満
e：40%未満

6 基準説明

100%以上の達成をaとし、等間隔に基準を設定した。

7 評価結果

17	18	19
b	a	b